城山校区・高橋校区の
これからを考えるワークショップ
- 第２回実施結果 -

日　　時：令和５年12月３日(日) 9:30～11:30
会　　場：高橋稲荷神社
参加者数：18名（自治会、地域事業者、大学生等）
目　　的：持続可能なまちづくりを目指し、地域の将来イメージや暮らしを充実するためのアイデアを考える。

＜プログラム＞

まち歩き

城山コースと高橋コースに分かれてグループ毎にまち歩きを行い、まちの資源を確認したり、歩いてみて改めて気付いたこと、感じたことを共有しました。

暮らしのマップづくり＆意見交換

テーマ：
「新たな暮らしの１ページ」を考える

地域のマップを使って、これからの暮らしを充実させるためのアイデアについて、みんなで考えました！

＜参加者の声＞

Q　印象に残ったこと、これから掘り下げていきたいこと（一部抜粋）

- まちは歩いてみないと良さも悪さもわからないので、**フィールドワークの大事さ**を再認識できた。
- フィールドワークの他、農家さん、子育て中のお母さんなど**地元の人の声も聞きたい。学校とも連携**して、子どもたちと一緒に**地域が元気になるアイデア**を考えたい！
- 天社宮の大クスノキを近くで見たのは初めてで、大木に感動した。**もっと地域を知りたい**ので、時間があったら散策してみたい。
- **子育てに良いまち**だと思った。**こどもから大人まで一緒に楽しめるようなまち**にしたい。
- 良い所、悪い所、いろいろな方々の話を１つ１つ大切に考えていけると良い。
- **人々の交流を促す**ことを掘り下げたい。**地域の若い世代や中学生、高校生などの参加が必要。**
- **情報発信をどうやっていくか**が課題になると感じた。

城山校区・高橋校区の『新たな暮らしの１ページ』

もっと暮らしが充実するためのアイデアや理想の地域・暮らしについて考えました！

交流が渦を巻くような状態を目指して！

地域の人・団体・それぞれが集まれる場所をつくり、
必要なときに連携・相談ができる**ゆるやかな地域ネットワークがある状態**を目指す！

地域内の空き家や空き地を活用して、**大人とこどもが一緒に集える空間・遊び場**をつくりたい！

実のなる木を植えて食べる楽しみも持ちながら、四季を通して集える空間に

高橋稲荷神社を中心に周辺を盛り上げる

地域住民、企業が連携して、門前町づくりに取り組む！

参道や坪井川付近を、市民や観光客が昭和の商業地の**賑わいを体感できるレトロで新しいまち**に！

高橋稲荷神社が**商売繁盛**の神社としてさらに有名になる、集客につながる企画を考え・実施して、**周辺の飲食店も一緒にうるおう！**

ご当地名物も押し出したい

地域を知り、親しみ、訪れてもらう

地域の歴史・資源や良好な自然景観をもっと知って、訪れてもらいたい！

複数のスポットを組み合わせて巡れるようにしたり、空き土地を活用して、鯉のぼり、初午などのイベントで使える**観光駐車場を確保**したい
歩道・橋の整備も必要

坪井川ともっと親しみたい！**県や上流区間の地域と連携**して、坪井川を一斉清掃！

自然景観が楽しめるフットパスがあると良い！

熊本駅から西区役所までの**巡回バス**を通して利便性アップ！

地域の生業を盛り上げて、のどかな時間を楽しむ

地元の美味しい農産物を食べて・交流したい！学校給食に取り入れたり、朝市も実施したい！

子育て世代のファミリーが県道28号線沿いで**ショッピングや食事を楽しめるまち**に

南北に抜ける通りに、**歩きやすい広い歩道とおしゃれなカフェ**が並ぶとうれしい

食べ歩きできるメニューの開発やサービスの充実、飲食店同士の連携などで、**食の楽しみを増やしたい！**